

下呂市消防本部のあゆみ

益田郡(下呂町・萩原町・金山町・小坂町・馬瀬村)は昭和48年4月1日広域町村圏域の指定を受け地域の振興整備を図っていたが、昭和53年消防事務の共同処理体制造りの気運が高まり、昭和54年4月1日益田地域広域町村圏事務組合に消防事務の共同処理が加えられ組合消防として発足した。その後平成12年に広域連合に組織を変更し、平成16年3月1日益田郡5ヶ町村が合併「下呂市」となり現在の下呂市消防本部が発足しました。

- 昭和 53 年 2 月 9 日 益田地域広域町村圏事務組合圏域内の消防の広域化推進の為の会議、審議が開始された
10 月 20 日 構成町村消防の広域化を承認
10 月 25 日 政令指定申請
- 昭和 54 年 4 月 1 日 自治省告示第79号により政令指定を受ける。
益田地域広域町村圏事務組合消防本部が、1本部1署2分署1出張所体制で発足。
消防現勢
消防本部9名・下呂消防署27名・萩原分署(小坂出張所含)18名・金山分署12名 計66名
下呂消防署装備
水槽付ポンプ自動車1台・ポンプ自動車2台・梯子車1台・救助工作車1台・救急車2台・指令車1台
4 月 17 日 下呂ライオンズクラブより指令車1台の寄贈を受け萩原分署に配置
5 月 11 日 金山分署に指令車1台配置
6 月 1 日 萩原分署・金山分署仮庁舎にて救急業務開始
6 月 29 日 金山分署に救急車1台設置
10 月 6 日 日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け萩原分署に配置
10 月 18 日 金山分署に水槽付ポンプ自動車1台配置
12 月 11 日 小坂出張所竣工(昼間のみ救急業務実施)
12 月 19 日 金山分署竣工 業務開始
12 月 21 日 萩原分署竣工 業務開始
- 昭和 55 年 1 月 31 日 萩原分署に水槽付ポンプ自動車1台配置
9 月 28 日 小坂出張所業務開始 救急車1台配置
9 月 30 日 消防本部庁舎竣工(下呂消防署に併設)
11 月 29 日 下呂消防署に救急指令装置(B型)設置
12 月 25 日 萩原分署に指令車1台配置
- 昭和 56 年 4 月 1 日 新規採用 7名
職員現勢
消防本部8名・下呂消防署29名・萩原分署(小坂出張所含)20名・金山分署14名 計71名
8 月 22 日 消防本部に指導広報車1台設置
下呂消防署に水槽付ポンプ自動車1台更新
10 月 1 日 新規採用 1名
- 昭和 57 年 4 月 1 日 機構改革により1本部3署1出張所体制となる
新規採用 3名
職員現勢
消防本部8名・下呂消防署30名・萩原消防署(小坂出張所含)22名・金山消防署14名 計74名
- 昭和 58 年 3 月 26 日 圧縮空気定置式製造設備設置
4 月 1 日 益田広域事務組合消防本部と改称
12 月 1 日 救急医療情報システム業務開始
- 昭和 59 年 2 月 28 日 発足5周年特別点検
4 月 1 日 新規採用 1名
11 月 1 日 金山町より出向1名
職員現勢
消防本部7名・下呂消防署30名・萩原消防署(小坂出張所含)24名・金山消防署14名 計75名
- 昭和 60 年 3 月 14 日 消防本部に査察車1台配置
4 月 1 日 職員現勢
消防本部7名・下呂消防署30名・萩原消防署(小坂出張所含)24名・金山消防署14名 計75名
- 昭和 61 年 3 月 20 日 消防無線通信施設完成
4 月 1 日 新規採用 2名
8 月 1 日 財団法人日本消防協会より救急車1台の寄贈を受け下呂消防署救急車を更新
- 昭和 62 年 1 月 12 日 小坂出張所救急車更新(4WD)
5 月 29 日 金山消防署指令車更新
9 月 16 日 萩原消防署指令車更新
- 昭和 63 年 4 月 1 日 職員現勢
消防本部6名・下呂消防署30名・萩原消防署(小坂出張所含)24名・金山消防署14名 計74名
4 月 8 日 社団法人日本損害保険協会よりポンプ自動車1台寄贈を受け下呂消防署ポンプ車を更新
- 平成 元 年 3 月 3 日 発足10周年記念特別点検

	8月9日	消防本部指令車更新
	12月22日	金山消防署救急車更新(4WD)
	12月25日	小坂出張所指令車更新
平成2年	4月1日	新規採用 3名
平成3年	3月14日	社団法人日本損害保険協会より救急車(4WD)1台寄贈を受け萩原消防署救急車を更新
	4月1日	新規採用 1名
	9月26日	金山消防署水槽付ポンプ自動車更新
平成4年	4月1日	新規採用 3名
		職員現勢 消防本部6名・下呂消防署30名・萩原消防署(小坂出張所)26名・金山消防署14名 計76名
平成5年	11月18日	小坂出張所に水槽付ポンプ自動車(4WD)配置(車庫は、平成3年度工事で小坂庁舎に併設)
	1月7日	益田広域事務組合管理者特別点検
	4月1日	4週8休勤務体制運用開始 機構改革により消防本部を2課制(消防課・予防課)とする。 新規採用 6名 職員現勢 消防本部7名・下呂消防署32名・萩原消防署(小坂出張所)28名・金山消防署15名 計82名
		本部・各署にパソコン導入(救急・予防・庶務)運用開始
平成6年	4月27日	本部査察連絡車更新
	1月7日	益田広域事務組合管理者特別点検
	4月1日	機構改革により小坂出張所を小坂分署とする 1本部3署1分署体制となる 新規採用 4名 職員現勢 消防本部8名・下呂消防署33名・萩原消防署16名・小坂分署13名・金山消防署16名 計86名
平成7年	1月9日	益田広域事務組合管理者特別点検
	1月22日	阪神・淡路大震災第3次岐阜県消防派遣隊として3名参加
	3月23日	小坂分署仮眠室増築(27.26㎡)
	4月7日	下呂消防署指令車更新(下呂町有財産の無償貸与)
	6月15日	金山消防署資機材搬送車(軽トラック)1台配置
	7月3日	岐阜県知事より阪神・淡路大震災救援活動に対する感謝状授与
	10月28日	岐阜県総合防災訓練開催
	11月7日	下呂消防署救急車更新(高規格救急車)
	12月19日	県立下呂温泉病院と救急業務高度化に伴う心電図電送受信モニター設備等の設置及び運用に関する協定締結
平成8年	1月4日	高規格救急自動車運用開始(下呂消防署救急救命士1名体制)
	1月9日	益田広域事務組合管理者特別点検
	3月21日	益田地域救急医療連絡協議会発足(医師会・保健所・病院・町村・消防本部で組織)
	5月7日	救急救命士2名体制となる
	6月25日	JR高山線 特急ひだ15号脱線事故 JR名古屋駅19時40分発高山行き、特急ひだ15号(JR下呂駅21時18分到着予定)が下呂町三原、三原トンネル北側付近で上方約70mから落下した3~4m四方の岩(約60t)に衝突した。5両編成のうち先頭2両が脱線、乗客148名乗員2名のうち負傷者は、16名(軽傷)であった。
	7月24日	金山消防署 指令車更新
	9月26日	ライオンズ国際協会334-B地区・第2R-第1Zよりレコーディング・レサン2体の寄贈を受ける
平成9年	12月6日	長野県小谷村大規模土石流災害発生に伴う消防緊急援助隊出場待機要請
	1月9日	益田広域事務組合管理者特別点検
	1月14日	下呂消防署 水槽付ポンプ自動車更新
	5月12日	救急救命士3名体制となる
	6月18日	災害発生時における救急連絡体制「FAXネットワーク」の運用開始
平成10年	11月10日	南飛驒SOSネットワーク設立総会開催
	1月12日	益田広域事務組合管理者特別点検
	6月8日	萩原町奥田洞地内R41でマイクロバスと乗用車衝突による集団救急災害事故発生(重軽傷20名)
	8月11日	消防本部・下呂消防署庁舎起工式
	10月30日	携帯電話等119番通報県内サービス開始
	11月19日	救急救命士4名体制となる
	12月2日	小坂分署 救急車更新
	12月22日	萩原消防署 指令車更新
平成11年	1月7日	益田広域事務組合管理者特別点検
	4月1日	岐阜県防災航空隊へ1名派遣
	6月9日	消防本部・下呂消防署新庁舎竣工式

- 6月14日 消防本部・下呂消防署新庁舎にて業務開始
- 8月6日 (株)ハウテックより本部指導広報車の寄贈を受ける
- 9月1日 益田広域連合設立許可
- 9月2日 下呂ライオンズクラブより資機材搬送車の寄贈を受ける
- 平成12年 1月13日 益田広域事務組合管理者特別点検
- 3月31日 益田広域事務組合解散
- 4月1日 益田広域連合へ移管
機構改革により消防本部を3課制(総務・消防・予防)とし、下呂消防署に通信指令室を設ける
- 9月30日 梯子車更新(35m)
- 10月16日 益田郡内119番を下呂消防署に集約
- 平成13年 11月27日 日本損害保険協会より救助工作車1台の寄贈を受け下呂消防署に配置
- 1月9日 益田広域連合管理者特別点検
- 4月1日 新規採用 2名 他施設から異動1名 他施設へ異動3名
職員現勢
消防本部9名・下呂消防署31名・萩原消防署16名・小坂分署13名・金山消防署16名 計85名
火災類取締法に基づく火薬類の消費許可に関する事務を開始
- 5月1日 救急救命士5名体制となる
- 9月1日 木曾広域連合と消防相互応援協定を締結
- 11月12日 金山消防署救急車更新(高規格)
- 11月15日 救急救命士6名体制となる
- 平成14年 4月1日 機構改革により消防本部に通信指令室を設ける
新規採用 2名 他施設へ異動2名
職員現勢
消防本部8名(1名は、救急救命東京研修所入校)・通信指令室6名・下呂消防署25名(救命士4名)・萩原消防署16名(救命士1名)・小坂分署13名・金山消防署16名(救命士1名) 計84名
- 10月1日 益田広域連合消防活動規程運用開始
職員現勢
消防本部8名(1名は、下呂消防署兼務)・通信指令室7名・下呂消防署26名(救命士4名)・萩原消防署16名(救命士1名)・小坂分署12名・金山消防署15名(救命士1名) 計84名
- 12月1日 救急救命士7名体制となる
- 平成15年 1月18日 釣鐘洞門タンクローリー車両火災
下呂町三原地内の国道41号線釣鐘洞門内で、危険物積載(ガソリン10kℓ)を積載したタンクローリーと大型タンクトラックが正面衝突、爆発炎上し、両車両の運転手2名が死亡、この事故により国道41号線が2日間にわたり通行止めとなり、損害額56,631千円であった。
- 3月6日 萩原消防署救急車更新(高規格)
- 4月1日 新規採用(救命士有資格者)1名 他施設へ異動2名・他施設から異動2名
職員現勢
消防本部8名(1名は、下呂消防署兼務)・通信指令室7名・下呂消防署26名(救命士4名)・萩原消防署16名(1名は小坂分署兼務・救命士2名)・小坂分署12名・金山消防署15名(救命士2名) 計84名
飛騨地域メディカルコントロール協議会発足
飛騨地域メディカルコントロール協議会事後検証体制検討委員会発足
包括的指示による除細動の開始
- 11月1日 他施設から1名異動
- 平成16年 1月1日 携帯電話によるメール119番受信運用開始
- 1月21日 下呂消防署ポンプ車更新
- 2月28日 益田広域連合解散
- 3月1日 下呂市発足
下呂市消防本部発足
旧町村から2名異動
職員現勢
消防本部8名(1名は、中消防署兼務)・通信指令室7名・中消防署26名(救命士4名)・北消防署16名(1名は小坂分署兼務・救命士2名)・小坂分署12名・南消防署15名(救命士2名) 計84名
- 8月1日 第53回岐阜県消防操法大会開催
- 平成17年 3月15日 北消防署・南消防署除細動器配置・小坂分署AED配置
- 4月1日 岐阜県防災航空隊に1名派遣
市役所から2名異動
職員現勢
消防本部9名(1名は、中消防署兼務)・通信指令課7名・中消防署26名(救命士4名)・北消防署(小坂分署含む)25名(救命士5名)・南消防署15名(救命士4名) 計84名
- 5月17日 気管挿管救命士誕生
- 6月6日 下呂市危険物安全協会消防庁長官表彰受賞

- 平成 18 年 3 月 2 日 (株)ハウテックより中消防署指令車の寄贈を受ける
 3 月 3 日 萩原防災ヘリポート運用開始
 3 月 6 日 携帯119通報直接受信に切り替え
 4 月 1 日 平成18年度新規採用職員6名
 職員現勢
 消防本部9名(1名は、中消防署兼務)・通信指令室7名・中消防署29名(救命士4名)・北消防署(小坂分署含む)25名(救命士5名)・南消防署15名(救命士2名) 計85名
- 5 月 21 日 天皇、皇后両陛下をお迎えし、下呂市で全国植樹祭が開催される
 10 月 20 日 南消防署消毒室完成
 27 日 小坂分署増築工事完了
 11 月 24 日 北消防署増築工事完了
- 平成 19 年 4 月 1 日 平成19年度新規採用職員4名,市役所から2名異動。
 職員現勢
 消防本部10名(1名中署兼務)・通信指令室7名・中消防署29名(1名本部兼務・救命士4名)北消防署(小坂分署含む)25名(救命士6名)・南消防署15名(救命士4名) 計85名
- 23 日 小坂町地内において地下タンクより油流失事故発生
 5 月 28 日 岐阜県立下呂温泉病院と情報交換会開催(以降隔月開催)
 7 月 1 日 下呂市休日診療所開設(下呂市民会館)
 12 月 12 日 中消防署高規格救急車更新(トヨタハイメディック)
- 平成 20 年 3 月 3 日 小坂分署に高規格救急車配備(全署、高規格救急車配置となる)
 4 月 1 日 平成20年度新規採用職員2名、市役所へ異動1名
 消防本部9名(内1名中署兼務・1名岐阜県消防学校研修生派遣)・通信指令室7名・中消防署31名(1名本部兼務・救命士4名)・北消防署(小坂分署含む)25名(救命士6名)・南消防署15名(救命士4名) 計86名
- 7 月 30 日 下呂市湯之島地内、サービスタンクからの重油流失事故発生
 12 月 2 日 南消防署新型消防ポンプ車(キャフス付)に更新
- 平成 21 年 4 月 1 日 平成21年度新規採用職員2名
 職員現勢
 消防本部9名(内1名中署兼務)・通信指令室7名・中消防署30名(1名本部兼務)・北消防署(小坂分署含む)25名・南消防署15名・計86名
 通信指令室を通信指令課に変更
- 9 月 11 日 エマルゴ災害演習(あさぎり体育館)
 18 日 岐阜県緊急消防援助隊訓練(あさぎりスポーツ公園)
 11 月 17 日 小坂分署救急車更新
 12 月 9 日 北消防署新型消防ポンプ車(キャフス付)更新
 小坂分署新型消防ポンプ車(キャフス付)更新
- 平成 22 年 3 月 16 日 新高機能指令台(OKI I 型)運用開始
 4 月 1 日 平成22年度新規採用職員4名
 職員現勢
 消防本部8名(内1名中署兼務)・通信指令課7名・中消防署30名(1名本部兼務)・北消防署(小坂分署含む)25名・南消防署15名・計85名
- 8 月 27 日 全国消防救助技術大会(京都市)北消防署がロープブリッジ救出に出場
 10 月 16 日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練(可児市)
 12 月 13 日 ドクターヘリ 消防本部・下呂病院合同訓練
 19 日 エマルゴ土砂災害対応演習実施
- 平成 23 年 2 月 8 日 岐阜県ドクターヘリ運航開始式
 3 月 11 日 東北地方太平洋沖地震発生
 緊急消防援助隊出動(岐阜県隊は福島県へ)
 第1次隊から第4次隊(3月22日帰署)まで消火隊として出動。
 4 月 1 日 岐阜県防災航空隊に1名派遣
 平成23年度新規採用職員3名
 消防現勢
 消防本部11名(内1名中署兼務、派遣1名含む)・通信指令課8名・中消防署28名(1名本部兼務)・北消防署(小坂分署含む)25名・南消防署15名・計86名
- 11 月 4 日 下呂市危険物安全協会創立50周年記念講演会
 10 日 秋の全国火災予防運動に伴う防火パレード
 11 月 9 日 南消防署指令車更新
 24 日 下呂市医療救護訓練
- 平成 24 年 3 月 1 日 消防救急デジタル無線運用開始
 4 月 1 日 平成24年度新規採用職員4名
 消防現勢
 消防本部11名(内1名中署兼務、派遣1名含む)・通信指令課8名・中消防署28名(1名本部兼務)・北消防署(小坂分署含む)25名・南消防署15名・計86名